

平成 29 年度第 2 回湘南港利用者懇談会

日時 平成 30 年 3 月 17 日 (土)

午前 9 時 30 分から 11 時 30 分

場所 江の島ヨットハウス

1 階ミーティングルーム A

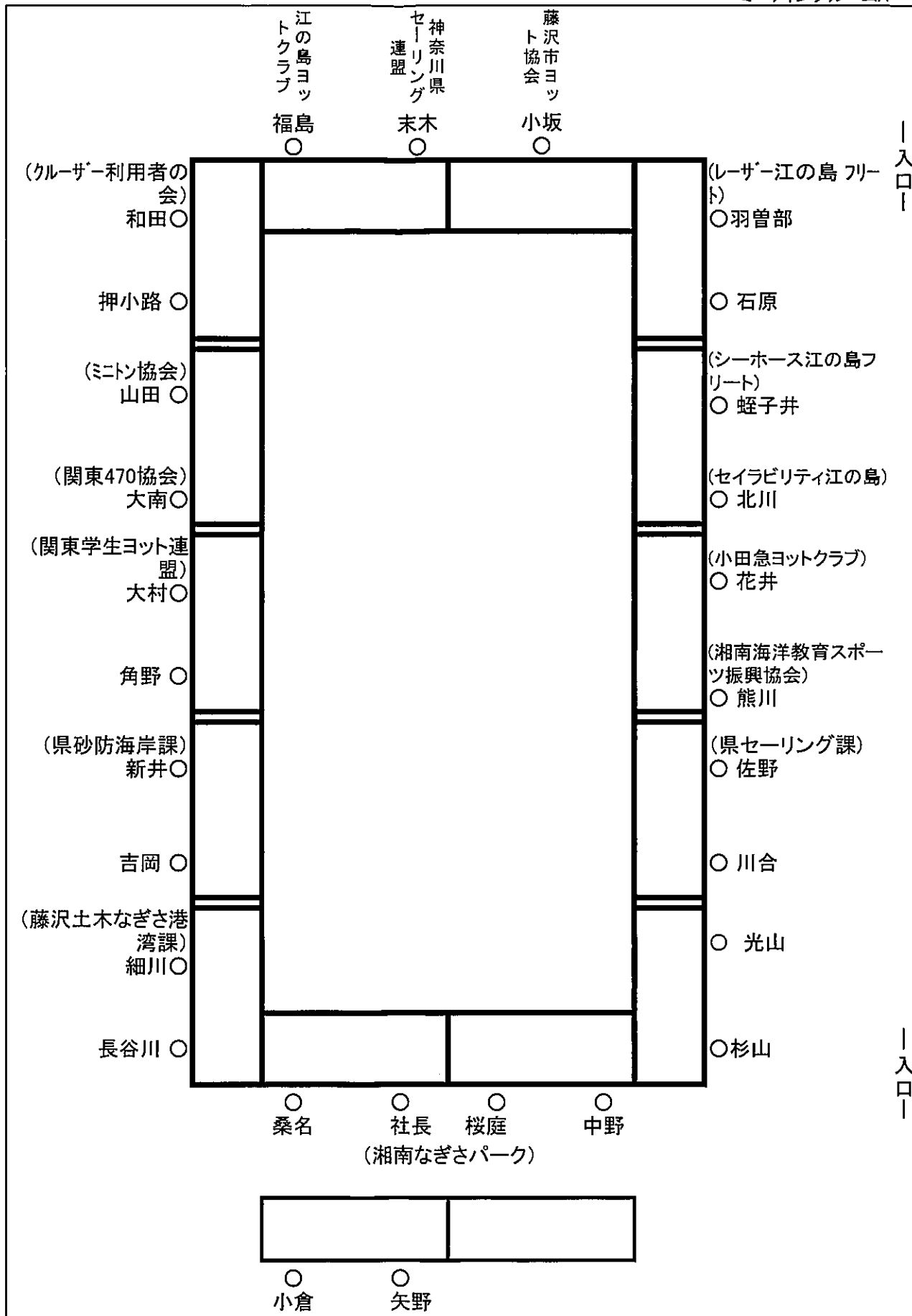
次 第

あいさつ 湘南港指定管理者
(株)湘南なぎさパーク 代表取締役社長 水田豊人

報告事項 1.平成 29 年度の事業報告について
2.東京 2020 オリンピックプレプレ大会/ワールドカップレースについて
3.セーリングセンターについて (県セーリング課より説明)
4.その他

座 席 表

ミーティングルームA



(敬称略)

湘南港利用者懇談会 出席者名簿

平成30年3月17日

	団 体 名	役職等	氏 名	備 考
1	神奈川県セーリング連盟	理事長	末木 創造	
2	藤沢市ヨット協会	理事長	小坂 康司	
3	江の島ヨットクラブ	理事	福島 望	
4	湘南港クルーザー利用者の会		和田 直樹	
5	”		押小路 実弘	
6	日本ミニトン協会	会長	山田 忠雄	
7	関東470協会	理事	大南 彩夏	
8	レーザー江ノ島フリート	フリートキャプテン	羽曾部 恭美	
9	”	関東水域マネージャー	石原 学	
10	シーホース江の島フリート	代表	蛭子井 貴	
11	セイラビリティ江の島	代表理事	北川 源太郎	
12	湘南海洋教育スポーツ振興協会	理事	熊川 均	
13	小田急ヨットクラブ		花井 司郎	
14	関東学生ヨット連盟	理事長	大村 達也	
15		副理事長	角野 吉則	
	(オブザーバー)			
	神奈川県砂防海岸課	グループリーダー	新井 千里	
		副技幹	吉岡 敦	
	” 藤沢土木事務所なぎさ港湾課	課長	細川 順一	
	”	主査	長谷川 誠	
	スポーツ局セーリング課	グループリーダー	佐野 義徳	
	”	副主幹	光山 秀秋	
	”	副主幹	川合 麻美	
	”	主査	杉山 和美	
	(事務局)			
	(株)湘南なぎさパーク	代表取締役社長	水田 豊人	
	” 湘南港管理部	管理部長	桜庭 英彦	
	”	ハーバースター	桑名 眞彦	
	”	管理課長	中野 有子	
	”	主幹	矢野 忠信	
	”	主事	小倉 佑太	

29 年度指定管理業務実績の報告 (実施数等は 3 月 17 日現在)

1. ヨットハーバー業務に係る総括

平成 29 年度は、東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技の会場が江の島に決定されたことに伴う、複数のワールドクラスの大会を含み、協議会開催届提出 64 レース、他 大小合わせ通算 100 回以上のレースが開催されました。

当社といたしましては、各大会開の安全な開催と利用者の利便性向上に努めました。

また、上半期には国際的なレースの運営に滞りがないよう、また、年末には通常時とまとまった練習ができないジュニアセーラーの合同練習会開催にあわせ、休港日に自主事業で社員が出勤し、対応いたしました。



2. 維持管理業務に関する総括

ア 施設維持管理業務

- ① 県土木事務所に、ミーティングルームに備え付けの机の追加購入していただいたことに合わせ、当社では、現在設置してある机のキャスター部分不具合を約 40 台程度修理いたしました。
- ② 緑地に設置のトイレは、特に観光客等不特定多数の利用があるため、つまりや故障が多く、ほとんどの場合は業者に頼らず、自社社員で対応しています。また、例年後を絶たない落書は、その都度社員で対応いたしました。特に今年度は日常修繕の他、台風発生時の床上浸水によるハウスの設備修繕、越波による駐車場トイレの破損等の想定外の事案に対し、指定管理者として対応できる箇所については、速やかに対応していたしました。
- ③ 景観、安全の確保の観点から、センタープロムナードの松の剪定を行いました。
- ④ 男女トイレに便座クリーナーを設置し、安心・快適な使用を確保しました。

イ 駐車場管理業務

夏季は平日においても駐車場利用が多いため、7 月 15 日 (土) から 8 月 31 日 (木) の期間は駐車場担当者を 1 名増員して対応いたしました。

29 年 10 月の台風直撃による被害を受けた臨港道路附属駐車場は、30 年 3 月 17 日現在、再開に至っておりませんが、復旧するまでの暫定措置として、当社運営のかもめ駐車場の管制機器を使用して、臨港道路附属駐車場の一部を使用することを県に提案し実現し、ヨット利用者の減免ができる駐車場の確保に努めています。

ウ 災害時対応業務等

台風等により施設被害が予測される場合は、「災害時行動マニュアル」に基づく予防行為として、職員による港内点検を強化し、陸置艇、係留艇のロープ補強等を行うなどの被害の防止（29年度実施 21回）及び、ご利用者に対する荒天予想時の速やかな情報提供や注意喚起を引き続き行い、より安全安心な施設管理に努めてまいります。

また、万が一の火災発生等有事に備え、今年度もヨットハウス施設利用者を交え、避難、消火器使用、AED使用の各訓練を実施し、これら訓練を繰り返し受講することにより、社員一人ひとりのスキル向上を図っています。



(4) 附帯事業等

今年度も、利用者利便事業として設置してあるレンタル自転車の利用料は、「神奈川海岸美化財団」に、また、オリジナル商品の前年度売上の一部は日本水難救済会の「青い羽根共同募金」に寄付いたしました。

(5) 開かれた港湾に向けての取組

障がいの有無や年齢に関わらず安心して乗船できるハンザクラスのヨットの普及活動を行うNPO法人セイラビリティ江の島の活動の後方支援の他、関係団体、NPO法人等が実施するイベントについて、その内容が開かれた港湾に向けて資するものについてはできるかぎり協力しています。



12月のハーバーイルミネーションは、当社でロープライト等を追加購入し、参加いただける艇に貸付ることにより、各艇の負担を軽減することに努め、16艇にライトアップの参加協力をしていただき、冬のハーバーを彩ることができました。



新年の甘酒振舞いは、7年目を迎え、またこれに合わせ、ハーバー利用者の協力により昨年度から行っている餅つきも大変好評で、来港されていた多くのご利用者楽しんでいただきました。



② 江の島（湘南港）みなとまちづくり協議会主催の、ハーバーフェスティバルや江の島天王祭の神輿海上渡御を海から見るイベントには、今年度も事務局として積極的に携わり、また実施にあたり、弊社レスキュー艇による体験乗船や観覧艇の運行などの協力をしました。

③ かながわシープロジェクト「Feel SHONAN」の一環である「ENJOY 海 KANAGAWA」に積極的に参加し、帆船「やまゆり」の乗船体験やハンザクラスディンギーの体験乗船、ロープワーク体験等を、7月、9月、10月に行いました。

④ 2020年東京オリンピックのセーリング競技会場周辺を花と緑で飾り、世界中から訪れる人々を歓迎するため、昨年度設立したボランティア団体である「なぎさフラワーサポーター」による植栽事業は定着し、花壇等は活動の実りをあげ、来港者へのおもてなしに貢献しています。

湘南港の施設整備の状況

- ご利用者の皆様には、ご不便をおかけしますが、オリンピック以降も見据え、以下の施設整備を行う予定としております。

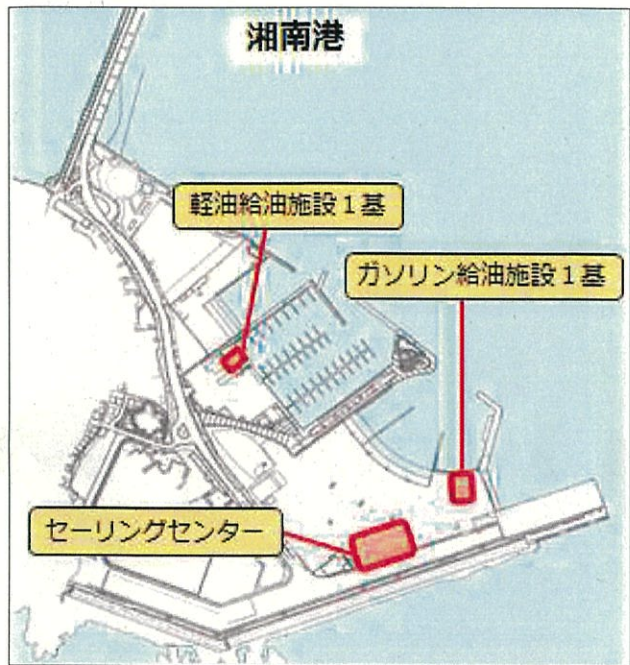
ご利用者の皆様の利便性向上はもとより、セーリング競技の普及にもつながる取り組みと考えておりますので、何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

1 セーリングセンター（仮称）の整備

艇整備庫等を備えた新たな施設「セーリングセンター（仮称）」を整備いたします。2018年度から新築工事を開始する予定です。マストを立てたまま艇の整備や計測を行う事のできる艇整備庫や、江の島周辺の海面を一望でき、レース全体の進行や安全管理を行う海面監視室を設ける予定です。

2 給油施設

ご利用者の利便性の向上及び国際大会や2020年本大会の円滑な運営のため、給油施設（取扱油種：軽油及びガソリン）を整備いたします。2018年に工事を開始する予定です。



3 その他の整備

2017年度には3tクレーンを更新し、スロープの改修を実施しています。老朽化した浮き桟橋についても順次補修してまいります。

問合せ先

セーリング課競技会場グループ

電話 (045)285-0788 (直通)

メール kanagawa-sailing2020.p16g@pref.kanagawa.jp

砂防海岸課なぎさグループ

電話 (045)210-6514 (直通)

メール nagisakouwan@pref.kanagawa.jp

セーリングセンター（仮称）イメーじパース



※ H30. 3. 17時点の案（デザイン・色彩等は藤沢市景観審議会で審議中であり、変更する場合があります）